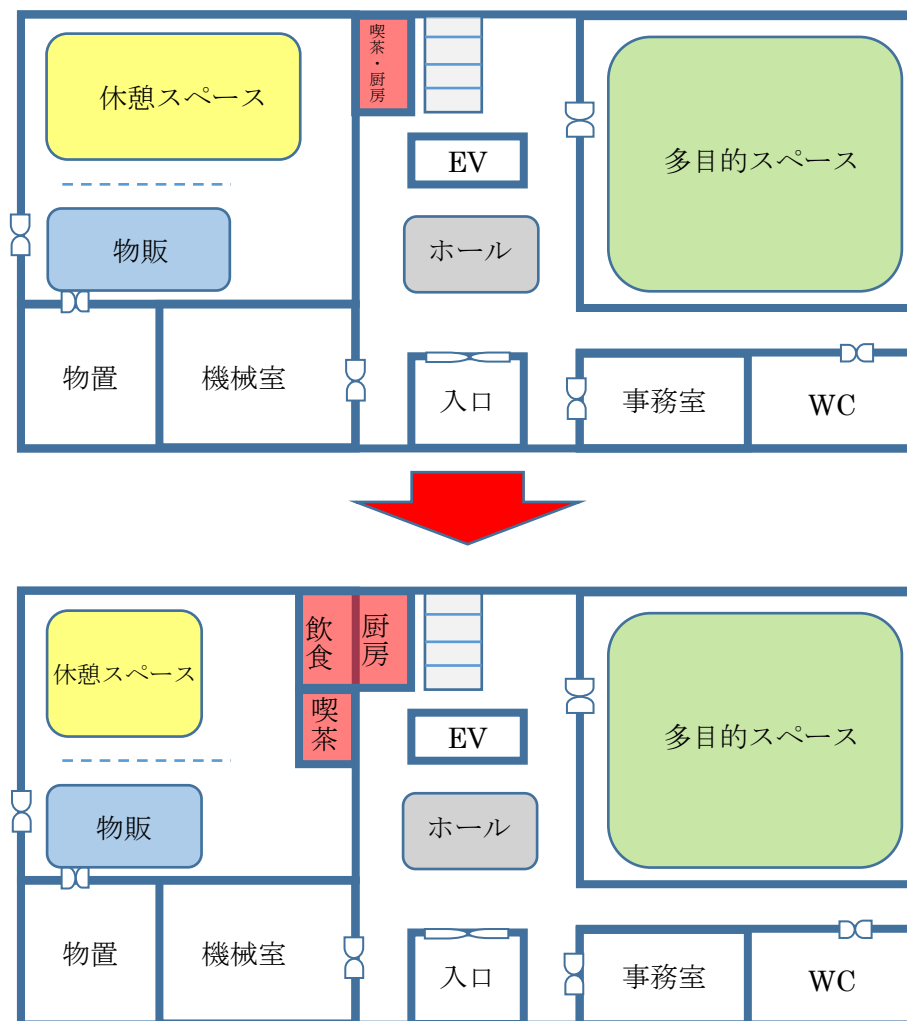


道の駅配置パターン（案）について

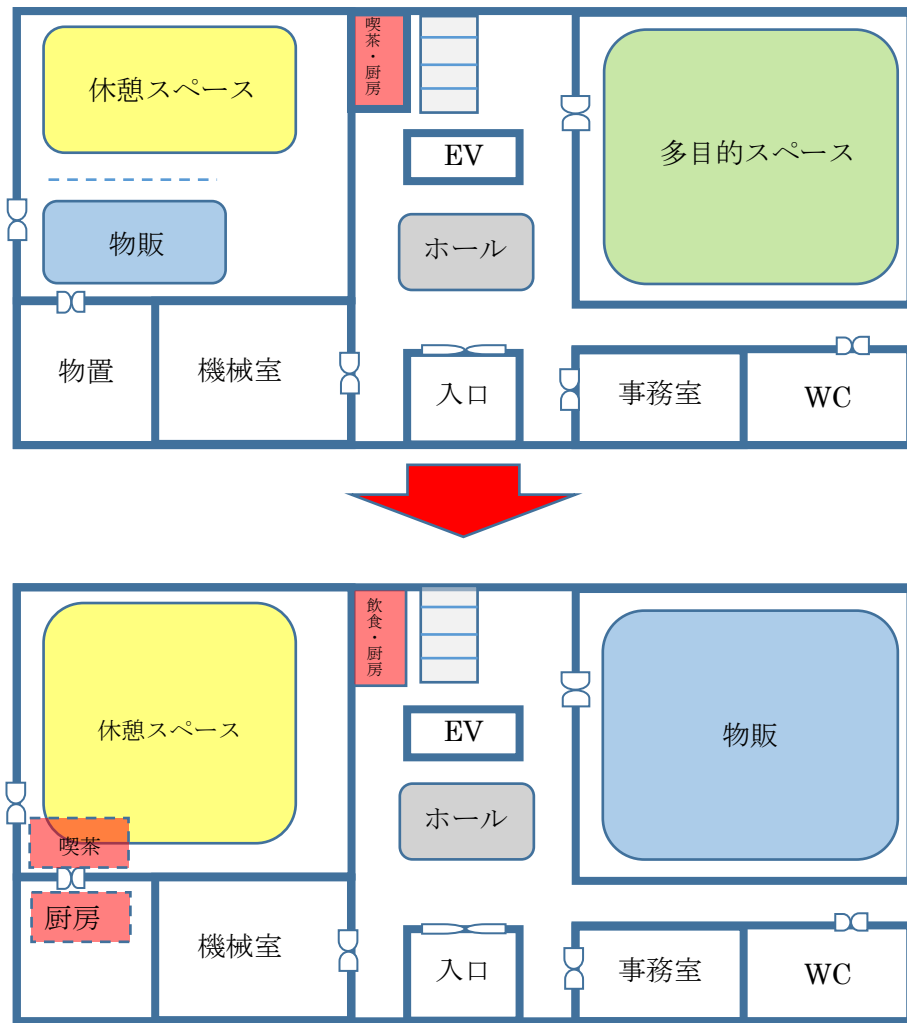
◆1Fの見直し

パターンA：『1F 飲食メニューの拡大』



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな改築が伴わず、改築費が最小限に抑えられる ・改築期間が最小限で済むことから既存の営業への影響が少ない
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食及び喫茶スペースが限られる ・休憩スペース及び売店面積が縮小される ・飲食機能のみの向上のため、物販機能は現状のままで変化がない
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・排気の関係からやきとり等店舗の厨房は既存喫茶の位置

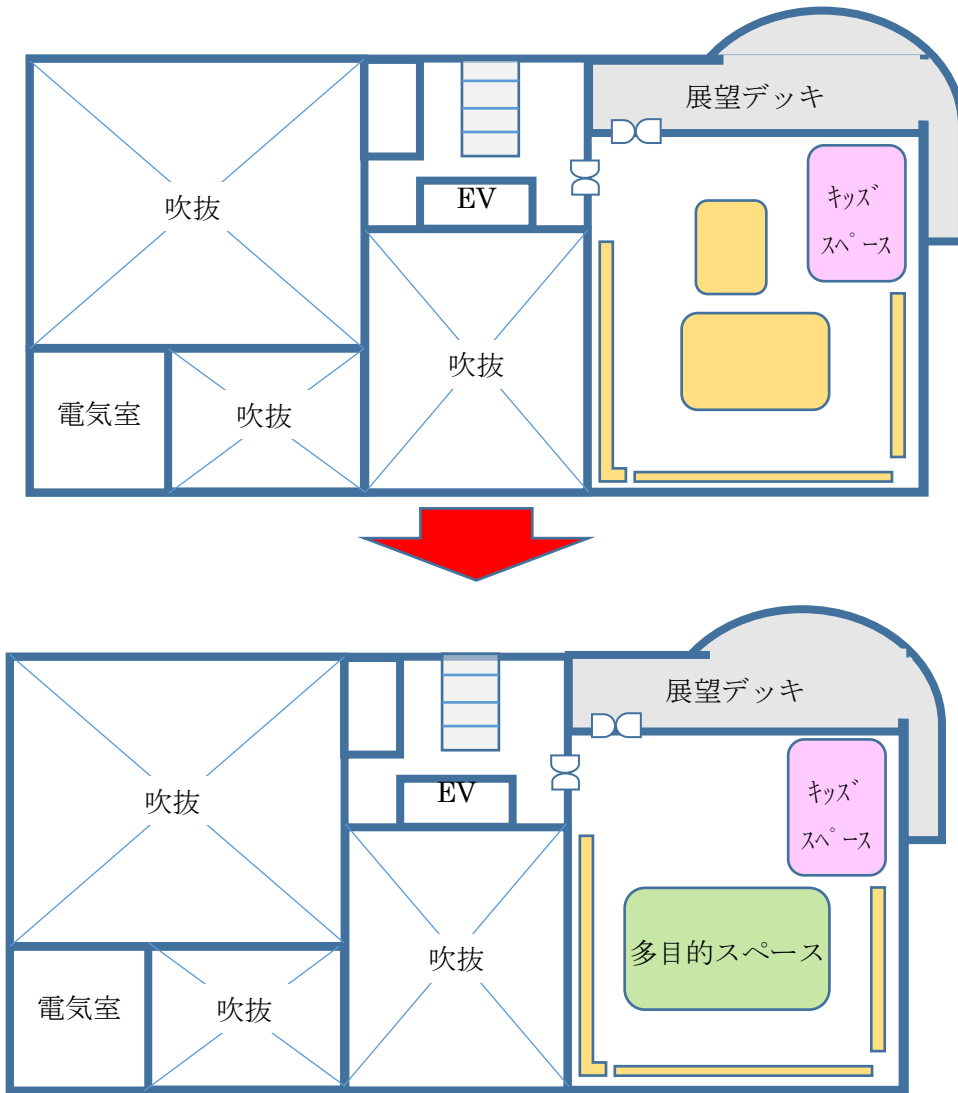
パターンB：『1F 飲食スペースの拡大・物販コーナーの移動及び拡大』



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食及び喫茶スペースが十分確保できる ・ 飲食・物販スペースの拡大により多くの来館者への対応も可能となり観光消費額向上の可能性が高まる。 ・ 物販スペースの拡大により、期間イベントなどにも対応可能となり特産品のPRにつながる ・ 1階左が飲食、ホールは情報発信、1階右が物販と役割が明確化する
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改築費がかかる ・ 多目的スペースを別途確保する必要がある
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房が必要となり、別途配管工事等が必要

◆ 2Fの見直し

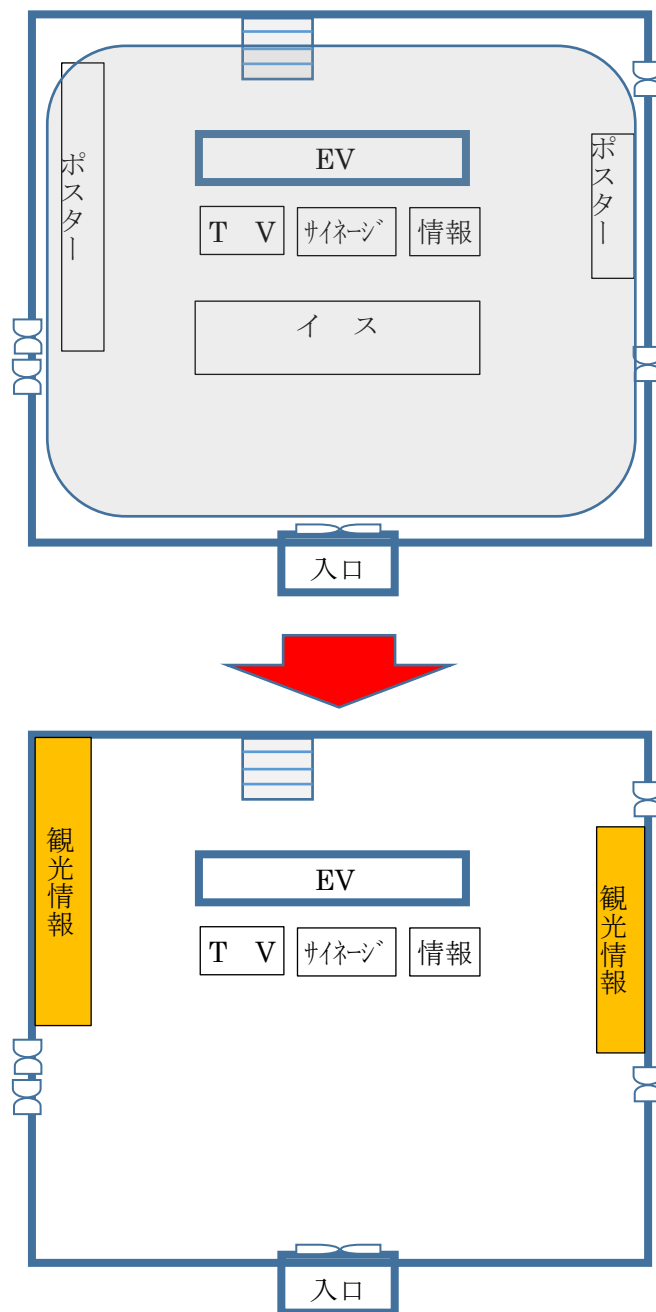
『多目的スペースを確保』



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的スペースを2階にすることで2階への誘導が図れる ・多目的スペースの利用がない場合、キッズスペースの拡大が図れるなどスペースの有効活用ができる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥大橋記念館展示物と多目的スペースが限られる
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオラマ撤去や展示物整理など、既存展示物の量の見直し

◆ 1 F 入口付近ホールの見直し

『1 F 入口付近ホールの案内・看板、情報発信方法の見直し』



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室蘭市、西胆振の観光情報をこれまでより統一感（掲示物の量、内容、掲示の仕方等）をもって提供する⇒観光客にとって見やすく、わかりやすく情報を提供できるようになる ・ エントランスに開放感がうまれる
デメリット	・ -
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター・パンフレットの整理など、掲示物の量・内容の見直し ・ 動画、ポスター類をサイネージで掲示する ・ イスを端に寄せロビー空間を確保

